

平成26年度

施策評価シート

No.1

| | | | |
|--|--|---|----------|
| 推進目標 | 江差町の教育の推進 | 部門別計画(施策) | 教育委員会総体 |
| 基本事業(施策)名 | 教育委員会費 | 担当係 | 学校教育課総務係 |
| 基本事業(施策)の対象 | 教育委員会に係る事務 | | |
| 基本事業(施策)の意図 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の意見を聞くことによる教育行政の民意を反映した計画の決定 ・教育行政に関するより深い理解を得てもらうための啓発・周知 ・教育長が教育委員会を代表して教育委員会の対外的な活動を推進(教育長交際費) ・教育、スポーツ、文化活動において優秀な成績者への顕彰をすると共に江差町の教育、文化、スポーツの発展に寄与する。(奨励賞) ・教育長とPTA会長との教育懇談会の開催 | | |
| 事務事業の評価 | | | |
| 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 |
| 教育委員報酬等 | 1,152,340 | 5 | 5 |
| 教育長交際費 | 118,825 | 5 | 5 |
| 教育委員会表彰 | 65,432 | 5 | 5 |
| 教育委員会の開催 | | 5 | 5 |
| 教育長とPTA役員との教育懇談会の開催 | | 5 | 5 |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・定例教育委員会の開催ほか、町内の学校訪問・表彰式の挙行など優れた取り組みがいくつかあり、継続して成果が上がっている。 ・策定済みの平成23年～平成27年度江差町教育推進計画「江差の教育を進めるために」に沿った教育政策の推進に努めた。 | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | |
| 外部評価委員会の意見 | <ul style="list-style-type: none"> ○評価は妥当と認める。 ○平成27年度からの「新教育委員会制度」への移行がスムーズに行われるよう取り組むこと。 ○学校・関係機関との連携を深める努力を今後とも継続すること。 | | |

平成26年度

施策評価シート

No.2

| | | | | | |
|--|--|---|----------|-------|----|
| 推進目標 | 江差町の教育の推進 | 部門別計画(施策) | 教育委員会総体 | | |
| 基本事業(施策)名 | 事務局費 | 担当係 | 学校教育課総務係 | | |
| 基本事業(施策)の対象 | 教育委員会事務局に係る事務 | | | | |
| 基本事業(施策)の意図 | <ul style="list-style-type: none"> ・江差町奨学金運営委員会の開催、奨学金貸付の審査及び運営の助言 ・教育委員会の運営、事業の実施に係る事務、研修会等の出席、負担金等 ・教育委員会事務局職員に係る給料及び各種手当等(教育長含む14人分) | | | | |
| 事務事業の評価 | | | | | |
| 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 |
| 奨学金 | 6,860 | 5 | 4 | 4 | |
| 事務局運営費 | 4,648,579 | 5 | 5 | 5 | |
| 職員人件費 | 110,001,409 | 5 | 5 | 5 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局運営に必要な経費(指導主事、事務補の配置等)として引き続き配置を継続することが出来た。 ・教育委員会職員の人件費を支出しており、成果が上がっている。 ・補助団体等の経理に関連し、町教委として各会計事務の定期的な監査に引き続き取り組んだ。 | | | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | | | |
| 外部評価委員会の意見 | | <ul style="list-style-type: none"> ○評価は妥当と認める。 ○職員総体で、「江差町教育推進計画」の具現化に向けて努力を続けること。 ○各種団体等への補助金に対し、監査や監理の体制を再度確認こと。 | | | |

平成26年度

施策評価シート

No.3

| | | | |
|--|--|--|----------|
| 推進目標 | 小中学校教育(小学校)の推進 | 部門別計画(施策) | 学校教育 |
| 基本事業(施策)名 | 小学校管理費 | 担当係 | 学校教育課総務係 |
| 基本事業(施策)の対象 | 小学校教育環境整備、教職員住宅管理、スクールバス運行事務 | | |
| 基本事業(施策)の意図 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の校舎等教育環境の整備(江差北小学校特別支援教室間仕切壁設置工事・南が丘小学校玄関上天井等補修工事) ・教職員住宅49戸に係る維持補修 ・江差北小学校児童のための通学バス運行 ・小学校遊具整備事業 ・小学校教員用パソコン整備事業 | | |
| 事務事業の評価 | | | |
| 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 |
| 教職員住宅 | 832,100 | 5 | 5 |
| スクールバス委託 | 8,696,160 | 5 | 4 |
| 小学校整備事業 | 2,376,000 | 5 | 5 |
| 町内小学校の設備保守点検 | 5,123,980 | 5 | 5 |
| 小学校営繕 | 2,632,134 | 5 | 5 |
| 小学校遊具等改修事業 | 1,850,774 | 5 | 5 |
| 小学校教員用パソコン整備事業 | 2,245,320 | 5 | 5 |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | ・江差北小学校特別支援教室間仕切壁設置工事の実施、南が丘小学校玄関上天井等補修工事の実施、スクールバスの運行等、学校及び児童の教育環境整備が図られた。教職員住宅の整備については、例年同様、全ての要望に応えることができなかったが、優先順位を付けながら実施を図った。 | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | |
| 外部評価委員会の意見 | | ○評価は妥当と認める。 ○小学校の校舎等の整備(北小特別支援教室間仕切壁設置工事、南小玄関上天井等補修工事等)が計画的に実施されていることは評価するものである。今後も計画的に教育環境の整備に努めること。 ○スクールバスの運行に関しては、運行料金の軽減を図りつつスクールバスの運行に努めること。 ○学校の各種修繕等については、児童・職員が学校生活に支障が出ないよう今後とも継続して取り組んでいくこと。 | |

平成26年度

施策評価シート

No.4

| | | | |
|---|---|---|------------|
| 推進目標 | 小中学校教育(小学校)の推進 | 部門別計画(施策) | 学校教育 |
| 基本事業(施策)名 | 小学校管理 | 担当係 | 学校教育課学校教育係 |
| 基本事業(施策)の対象 | 小学校教育に関する学校運営及び施設管理 | | |
| 基本事業(施策)の意図 | <p>《全ての児童が等しく享受することができる小学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある小学校教育の充実を図る》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に公務補を配置し、学校施設の日常管理を実施 ・教職員の定期健康診断の実施及び人間ドッグ等の費用の一部負担 ・児童の各種健診の実施 ・授業に必要な教材・教具の整備 ・学校施設の維持管理運営 | | |
| 事務事業の評価 | | | |
| 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 |
| 公務補の配置 | 6,491,892 | 5 | 5 |
| 各種健診 | 1,719,004 | 5 | 4 |
| 教材教具・消耗品の整備 | 8,574,565 | 5 | 4 |
| 学校管理運営 | 26,943,219 | 5 | 4 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| <p>※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能）</p> <p>増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3</p> <p>あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1</p> | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の施設の維持管理に必要な公務補の配置や光熱水費等の負担により快適な学校環境の整備に努めた。 ・教職員及び児童(新就学児童含む)の健診を実施し、心身ともに充実した学校運営の実施。 ・一般授業や校外活動に必要な教材・教具の整備、学校運営に必要な一般備品、消耗品等を整備することに努めた。しかしながら、一部の消耗品費において、町外業者からの購入実績が多いことへの指摘を受け、引き続き改善に努めた。 | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | |
| 外部評価委員会の意見 | | <p>○評価は妥当と認める。</p> <p>○公務補の業務の特殊性を考慮し、更なる待遇の改善について町部局と継続して検討すること。</p> <p>○授業に必要な教材・教具の購入に際して、限られた予算内で有効活用を図ること。</p> <p>○学校施設の維持管理について、計画的な整備に努めること。</p> | |

平成26年度

施策評価シート

No.5

| | | | |
|-------------|--|-----------|------------|
| 推進目標 | 小中学校教育(小学校)の推進 | 部門別計画(施策) | 学校教育 |
| 基本事業(施策)名 | 小学校教育振興費・学校給食費 | 担当係 | 学校教育課学校教育係 |
| 基本事業(施策)の対象 | 小学校の教育振興に係る事務 | | |
| 基本事業(施策)の意図 | <p>《全ての児童が等しく享受することができる小学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある小学校教育の充実を図る》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の加配を通じて個に応じた指導方法の工夫改善を実施し、個々の児童の学力の向上を図る。 ・ADHD・LDなどの学習障害を持つ児童に対する特別支援教育の充実 ・運動競技や外部講師による授業を通じ、心身共に豊かな児童の育成 ・低収入世帯の生徒に対する学用品費や給食費等の援助及び特別支援教育就学奨励 ・江差北小中学校における小中一貫教育の推進 ・「中1ギャップ」問題未然防止事業 ・小学校情報教育環境の整備、ICT環境整備 ・学力向上対策推進事業、図書整備事業 | | |

事務事業の評価

| 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 |
|---------------------------|-----------|-----|--------|-------|----|
| 小学校教育振興事務 | 1,000,223 | 5 | 4 | 4 | |
| 特別支援教育支援員配置 | 6,256,203 | 5 | 5 | 5 | |
| 江差町特別支援教育連絡会議の開催 | | 5 | 4 | 5 | |
| 江差町基礎学力向上対策会議の開催 | | 5 | 4 | 5 | |
| 退職教員等外部人材活用事業 | | 5 | 4 | 3 | |
| 要保護生徒等就学援助・特別支援教育就学奨励 | 3,860,364 | 5 | 5 | 4 | |
| 小中一貫教育推進・「中1ギャップ」問題未然防止事業 | 500,000 | 5 | 4 | 5 | |
| 小学校情報教育環境整備 | 1,760,782 | 5 | 5 | 5 | |
| 学力向上対策推進事業・図書整備事業 | 784,316 | 5 | 5 | 4 | |

※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3
あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

| | | | |
|------------|--------|---|--|
| 江差町教育委員会 | 評価 | <p>・町内の各学校に特別支援学級が設置されているが、普通学級においても学習障害、自閉症等で学校生活及び授業において支援を要する児童が在籍しており、支援員を配置することにより、円滑な学校・学級運営に資することができる。平成25年度においては、予算及び人員の確保が図られ、各小学校に1名を配置することが出来た。</p> <p>・低所得世帯等への就学に要する学用品費及び給食費を支給することにより、義務教育の機会均等を図っている。</p> <p>・心身ともに豊かな児童の育成を目指すことを目的に、小体連の運営を補助した。</p> <p>・各種教育団体への補助を通じ、学校及び教職員の研修意欲を高めた。</p> <p>・教職員以外の外部の人材を活用し授業を行い、児童の興味、関心をひく授業を行っている。反面、平成23年度より配置されていた巡回指導教員の加配を得ることが出来なかった。</p> <p>・小中一貫の意義の習得及び教師及び地域住民の気運の高まりが図られた。</p> <p>・「中1ギャップ」未然防止事業については、小中一貫教育を推進する上では共通する部分もあり、小・中学校の円滑な接続に更なる期待と成果を望むことが出来た。</p> <p>・江差町基礎学力向上対策会議を開催し、各学校の取り組み紹介や進捗状況の意見交換が図られた。</p> <p>・平成25年度より、学力向上対策推進のための予算化が図られた。また、昨年度に比べて、学校図書館の蔵書数の更新が図られた。</p> <p>・更新が必要とされるパソコンの整備が図られた。</p> | |
| | 事業の方向性 | <input type="radio"/> | <p>さらに重点化する</p> <p>現状のまま継続する</p> <p>見直しのうえ継続する</p> <p>事業の縮小を検討する</p> <p>休止、廃止を検討する</p> |
| 外部評価委員会の意見 | | <p>○評価は妥当と認める。</p> <p>○江差町および各学校において「いじめ防止基本方針」を策定したことは評価するものであり、なお一層いじめ防止に努めること。</p> <p>○特別支援教育支援員については、全小学校に1名ずつ配置されたているが、支援が必要な児童の状況を踏まえ、増員を図ること。</p> <p>○虫歯予防を目的としたフッ化物洗口の取組みを図ること。</p> <p>○小中一環教育推進事業は、江差北小学校及び江差北中学校については「学校教育目標」の統一を行うなど着実に成果が上がっている。今後については、学園制、コミュニティ・スクールも視野に入れ、検討を図ること。</p> <p>○江差中学校区3校における連携事業としての「トライアングルサポート」事業は、義務教育9年間で子どもを育てる目的のため、小中の教師が同じ意識で取り組むこと。</p> <p>○学校図書館の購入については、予算増が図られたことは評価する。今後もより一層の充実を図ること。</p> | |

平成26年度

施策評価シート

No.6

| | | | | | |
|--|--|--|----------|-------|----|
| 推進目標 | 小中学校教育(中学校)の推進 | 部門別計画(施策) | 学校教育 | | |
| 基本事業(施策)名 | 中学校管理費 | 担当係 | 学校教育課総務係 | | |
| 基本事業(施策)の対象 | 江差中学校整備、スクールバスの運行事務 | | | | |
| 基本事業(施策)の意図 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の校舎等教育環境の整備(江差中学校改築整備事業の実施、江差北中学校グラウンドバックネット改修工事) ・江差北中学校生徒のための通学バス運行 | | | | |
| 事務事業の評価 | | | | | |
| 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 |
| 中学校教育環境整備事業 | 1,012,893,613 | 5 | 5 | 5 | |
| スクールバス委託 | 8,773,740 | 5 | 4 | 5 | |
| 町内中学校の設備保守点検 | 768,604 | 5 | 5 | 5 | |
| 中学校営繕 | 1,601,318 | 5 | 5 | 4 | |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・当初の予定通り、平成25年度、平成26年度の2ヶ年で校舎及び屋体を完成させることが出来、あわせて校舎周りの外構工事も補助金を活用して取り進めることが出来た。また、強風により倒壊したバックネットの改修工事も進めることが出来た。 ・時数は限定であるが、休日の部活動にも対応出来るスクールバスの運行が図られた。 | | | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | | | |
| 外部評価委員会の意見 | <ul style="list-style-type: none"> ○評価は妥当と認める。 ○江差中学校の校舎・体育館が完成したことは、大変喜ばしいことであり評価するものである。加えて、平成27年度には「旧校舎の解体」「グラウンド整備」が進んでおり、「校舎・体育館」同様に万全を期して整備されることを望む。 ○スクールバスの運行に関しては、運行料金の軽減を図りつつスクールバスの運行に努めること。 ○学校の各種修繕等については、生徒・職員が学校生活に支障が出ないよう今後とも継続して取り組んでいくこと。 | | | | |

平成26年度

施策評価シート

No.7

| | | | |
|--|---|---|------------|
| 推進目標 | 小中学校教育(中学校)の推進 | 部門別計画(施策) | 学校教育 |
| 基本事業(施策)名 | 中学校管理 | 担当係 | 学校教育課学校教育係 |
| 基本事業(施策)の対象 | 中学校教育に関する学校運営及び施設管理 | | |
| 基本事業(施策)の意図 | 《全ての生徒が等しく享受することができる中学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある中学校教育の充実を図る》 ・学校に公務補を配置し、学校施設の日常管理を実施 ・教職員の定期健康診断の実施及び人間ドッグ等の費用の一部負担 ・生徒の各種健診の実施 ・授業に必要な教材・教具の整備 ・学校施設の維持管理運営 | | |
| 事務事業の評価 | | | |
| 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 |
| 公務補の配置 | 4,327,928 | 5 | 5 |
| 各種健診 | 989,724 | 5 | 4 |
| 教材教具・消耗品の整備 | 4,981,375 | 5 | 5 |
| 学校管理運営 | 9,903,329 | 5 | 4 |
| | | | |
| | | | |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | ・各学校の施設の維持管理に必要な公務補の配置や光熱水費等の負担により快適な学校環境の整備に努めた。 ・教職員及び生徒の健診を実施し、心身ともに充実した学校運営の実施。 ・一般授業や校外活動に必要な教材・教具を整備することが図られた。また学校運営に必要な一般備品、消耗品等の整備に努めた。 | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | |
| 外部評価委員会の意見 | | ○評価は妥当と認める。 ○公務補の業務の特殊性を考慮し、更なる待遇の改善について町部局と継続して検討すること。 ○授業に必要な教材・教具の購入に際して、限られた予算内で有効活用を図ること。 ○学校施設の維持管理について、計画的な整備に努めること。 ○国の制度等を活用しながら、楽器等通常整備しづらい高額な備品等の整備をより図る一方で、整備されている備品についてのメンテナンス管理を徹底すること。 | |

平成26年度

施策評価シート

No.8

| 推進目標 | 小中学校教育(中学校)の推進 | 部門別計画(施策) | 学校教育 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|------------|--------------|-------|-----|--------|-------|----|-----------|---------|---|---|---|--|----------|-----------|---|---|---|--|----------------|--|---|---|---|--|-----------------------|-----------|---|---|---|--|---------|---------|---|---|---|--|-------------|-----------|---|---|---|--|-------------------|---------|---|---|---|--|
| 基本事業(施策)名 | 中学校教育振興費・学校給食費 | 担当係 | 学校教育課学校教育係 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基本事業(施策)の対象 | 中学校の教育振興に係る事務 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基本事業(施策)の意図 | <p>《全ての生徒が等しく享受することができる中学校義務教育振興の確立を目指すとともに家庭・地域に信頼され、魅力ある中学校教育の充実を図る》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動などを通じ、心身ともに健康で豊かな生徒の育成 ・低収入世帯の生徒に対する学用品費や給食費等の援助及び特別支援教育就学奨励 ・中学校楽器整備 ・中学校情報教育環境の整備 <p>2・学力向上対策推進事業、図書整備事業</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>施策目的のための事務事業</th> <th>事業コスト</th> <th>必要性</th> <th>経済・効率性</th> <th>目的達成度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校教育振興事務</td> <td>104,000</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中体連等出場補助</td> <td>1,217,560</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スクールカウンセラー活用事業</td> <td></td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>要保護生徒等就学援助・特別支援教育就学奨励</td> <td>2,958,111</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校楽器整備</td> <td>792,720</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校情報教育環境整備</td> <td>1,167,422</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学力向上対策推進事業、図書整備事業</td> <td>505,379</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | | 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 | 中学校教育振興事務 | 104,000 | 5 | 4 | 4 | | 中体連等出場補助 | 1,217,560 | 5 | 4 | 3 | | スクールカウンセラー活用事業 | | 5 | 5 | 5 | | 要保護生徒等就学援助・特別支援教育就学奨励 | 2,958,111 | 5 | 5 | 5 | | 中学校楽器整備 | 792,720 | 5 | 5 | 5 | | 中学校情報教育環境整備 | 1,167,422 | 5 | 5 | 5 | | 学力向上対策推進事業、図書整備事業 | 505,379 | 5 | 5 | 5 | |
| 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学校教育振興事務 | 104,000 | 5 | 4 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中体連等出場補助 | 1,217,560 | 5 | 4 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スクールカウンセラー活用事業 | | 5 | 5 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 要保護生徒等就学援助・特別支援教育就学奨励 | 2,958,111 | 5 | 5 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学校楽器整備 | 792,720 | 5 | 5 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学校情報教育環境整備 | 1,167,422 | 5 | 5 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学力向上対策推進事業、図書整備事業 | 505,379 | 5 | 5 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能）</p> <p>増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3</p> <p>あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育を必要とする生徒は増加しておりそのニーズは高まっていることから、引続き支援員の配置要望を続ける必要がある。 ・低所得世帯等への就学に要する学用品費及び給食費を支給することにより、義務教育の機会均等を図っている。 ・心身ともに豊かな生徒の育成を目指し、また、保護者の負担を軽減することにより生徒が積極的に中体連や吹奏楽祭などに出場できるよう経費の一部を補助している。(団体競技の全道大会等の出場の減) ・高額な楽器の整備が図られた。 ・更新が必要とされるパソコンの整備が図られた。 ・江差町基礎学力向上対策会議を開催し、各学校の取り組み紹介や進捗状況の意見交換が図られた。また、平成25年度より、学力向上対策推進のための予算化が図られた。また、昨年度に比べて、学校図書館の蔵書数の更新が図られた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外部評価委員会の意見 | | <p>○評価は妥当と認める。</p> <p>○スクールカウンセラー活用事業における「心の専門家」としての教育相談体制の更なる充実と、その利用状況や傾向と対策についての把握に努めること。</p> <p>○不登校や悩みを抱えている生徒への対応を的確に図ること。</p> <p>○小中一環教育推進事業は、江差北小学校及び江差北中学校については着実に成果が上がってきている。今後については、学園制、コミュニティ・スクールも視野に入れ、検討を図ること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成26年度

施策評価シート

No.9

| | | | |
|--|--|---|----------|
| 推進目標 | 幼児教育の推進 | 部門別計画(施策) | 学校教育 |
| 基本事業(施策)名 | 幼稚園管理費 | 担当係 | 学校教育課総務係 |
| 基本事業(施策)の対象 | 幼稚園に係る運営管理、事務 | | |
| 基本事業(施策)の意図 | <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園への就園奨励費補助【10月より第3子への補助拡充】 ・江差幼稚園に対する運営費の一部補助 ・幼稚園教諭の出張、休暇等の際の代替教諭の雇用 ・あすなろ幼稚園事務(園長の報酬、運営に係る経費、施設の維持及び管理に係る経費、研修会等の参加)に係る経費 ・町立幼稚園入園料及び保育料の減免【10月より第3子への減免拡充】 | | |
| 事務事業の評価 | | | |
| 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 |
| 幼稚園管理 | 5,062,675 | 5 | 4 |
| 幼稚園代替教諭 | 246,000 | 5 | 5 |
| 私立幼稚園就園奨励費補助金 | 1,588,800 | 5 | 5 |
| 私立幼稚園運営補助 | 513,000 | 5 | 5 |
| 幼稚園体験入園(未就園児対象) | | 5 | 5 |
| | | | |
| | | | |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園への運営、事業費補助及び幼稚園就園奨励費補助金を支出し、幼稚園の安定的経営、保護者の負担軽減が図られた。 ・あすなろ幼稚園に係る運営体制を維持し、幼児教育の充実が図られた。また、未就園児を対象に、幼稚園体験入園を開催するなど、少子化の中、前年度並みの幼稚園児確保の取り組みが図られた。 | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | |
| 外部評価委員会の意見 | | <ul style="list-style-type: none"> ○評価は妥当と認める。 ○現在の少子化の進展を見据え、将来的な幼児教育や保育のあり方について、町部局との検討を継続すること。 ○引き続き第3子の保育料の減免・補助を継続すること。 | |

平成26年度

施策評価シート

No.10

| | | | | | |
|--|---|--|----------|-------|----|
| 推進目標 | 家庭・地域の教育力の推進 | 部門別計画(施策) | 学校教育 | | |
| 基本事業(施策)名 | 奨学金貸付事務 | 担当係 | 学校教育課総務係 | | |
| 基本事業(施策)の対象 | 奨学金の貸付事務 | | | | |
| 基本事業(施策)の意図 | <ul style="list-style-type: none"> ・江差町に住所を有する者の子女で、高校、高等専門学校及び大学に進学を希望するも経済的理由により就学困難な者に対し、学資を貸与し、もって有能な人材の育成と確保を図る。あああ ・滞納整理の実施 | | | | |
| 事務事業の評価 | | | | | |
| 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 |
| 奨学金貸付 | 2,454,000 | 5 | 4 | 4 | |
| 奨学資金積立金 | 3,149,026 | 5 | 4 | 4 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| ※事業評価欄の記載例（なお、特記事務事業については同様式にて添付可能） 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | <ul style="list-style-type: none"> ・新規貸付については、採用枠(大学等3名以内、高校等4名以内)に留まり、追加の募集を行ったが結果として枠内に収まった。(大学等3名、高校等0名) ・就学に必要な奨学金を貸付し、保護者の負担軽減を図ることができた。 ・継続貸付者(大学等3名、高校等7名)への奨学金を貸付 ・償還金の滞納整理の実施に一層の努力をして、収納率を上げること。 | | | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | | | |
| 外部評価委員会の意見 | | <ul style="list-style-type: none"> ○評価は妥当と認める。 ○社会保障制度の見直し等による、社会的変化に対応した制度設計の検討を、今後も継続して取進めること。 ○奨学金の滞納整理について、滞納防止対策の更なる推進を図りながら、尚一層の整理についての努力を続けること。 | | | |

平成26年度

施策評価シート

No.11

| | | | |
|---|---|--|---------------------|
| 推進目標 | 子ども達の夢を育み、地域全体で支える | 部門別計画(施策) | 社会教育 |
| 基本事業(施策)名 | 社会教育総務費、生涯学習推進費 | 担当係 | 社会教育課社会教育係 |
| 基本事業(施策)の対象 | ①江差の特色を生かした青少年・家庭教育の充実 ②青少年健全育成のための安全安心な環境整備 | | |
| 基本事業(施策)の意図 | 1-1 郷土の自然や文化、歴史に感動する学習活動、体験機会の拡充 1-2 各種団体、組織などの活動を活用した体験、世代間交流機会の拡充 2-1 学校・家庭・地域が一体となった青少年健全育成活動の充実 2-2 ふるさとの一員として郷土愛を実感できる機会の拡充 2-3 家庭・学校・地域の教育力の向上 3-1 家庭の教育力を高める学習機会の充実 3-2 子育て支援環境の充実 | | |
| 事務事業の評価 | | | |
| 推進計画該当項目 | 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 経済・効率性 目的達成度 備考 |
| 社会教育総務費・生涯学習推進費事業(計No.11~12同額) | | 9,663,130 | |
| 1-1 | 冒険王クラブ活動 | | 5 5 4 |
| 1-2 | 少年ふるさと学習(追分・尺八)、ふるさと江差発見学 | | 5 5 5 |
| 1-2 | 少年の主張江差町大会、ジュニアリーダー派遣など | | 5 5 5 |
| 2-1 | 各中学校区健全育成活動の支援、スクールガードの定 | | 5 5 5 |
| 2-2 | 成人式・新成人を祝う会、古談トーク | | 5 5 5 |
| 2-3 | 三愛運動活動定着への支援、早寝・早起き・朝ごはん活動 | | 5 5 4 |
| 3-1 | 江差町PTA研究大会等の支援 | | 5 5 5 |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | <p>○少年教育は、ふるさと江差発見事業など、地域の人材を講師として活用し、江差の特色ある歴史・文化・自然を生かした学習の推進が図られた。冒険王クラブでは、子ども達の体験活動を通じて、親子のふれあいとチャレンジ精神を培うことができた。</p> <p>○青年教育は、社会人としての自覚と誇りをもつことのきっかけや郷土愛の育成に努めた。なお、成人式で「未来の自分への手紙」への取り組みを新たにスタートさせ、内容の充実の努めた。</p> <p>○地域内における子どもの安全確保のため、「子ども110番の家」ステッカーの更新を図り意識啓発を行ったほか、標語活動、朝のあいさつ運動等青少年の健全育成活動の推進が図られた。</p> <p>○子どもの居場所づくり事業として、文化会館を活用した「遊びの広場事業」</p> | |
| | 事業の方向性 | <input type="radio"/> さらに重点化する(子どもの生活習慣づくり事業) <input type="radio"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | |
| 外部評価委員会の意見 | | <p>○評価は妥当と認める。</p> <p>○文化会館を利用した子どもの居場所づくり事業は、健全育成並びに世代間交流の観点からも行政や指定管理者のみならず、多くの町民や関係団体と連携し、継続・発展した展開を目指すこと。</p> | |

平成26年度

施策評価シート

No.12

| | | | | | | |
|--|---------------------------------------|---|-----|-----------|------------|----|
| 推進目標 | | 活気があり、人々が支え合い安心して生 | | 部門別計画(施策) | 社会教育 | |
| 基本事業(施策)名 | | 社会教育総務費、生涯学習推進費 | | 担当係 | 社会教育課社会教育係 | |
| 基本事業(施策)の対象 | | ①現代的課題に対応する学習活動の拡充 ②地域住民が支えあい学びあう地域活動への参加 | | | | |
| 基本事業(施策)の意図 | | 1-1 多様化、高度化する学習ニーズに応える学習、活動環境の充実 1-2 中高年、高齢者の学習機会、世代間交流機会、社会参加の充実 2-1 ボランティア活動への支援 2-2 協働のまちづくりの実践 2-3 地域間交流、国際交流の推進 | | | | |
| 事務事業の評価 | | | | | | |
| 推進計画 当該項目 | 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 |
| | 社会教育総務費・生涯学習推進費事業(計No.11~12同額) | 9,663,130 | | | | |
| 1-1 | 社会教育団体(文化協会・体育協会等)への活動支援 | | 5 | 4 | 4 | |
| 1-2 | シニアカレッジ 江差学園の推進、えさしスクールの開催 | | 5 | 5 | 4 | |
| 2-1 | ボランティア団体への支援と連携 | | 5 | 4 | 4 | |
| 2-2 | 江差学の推進 | | 5 | 5 | 5 | |
| 2-3 | 国際留学生の集い、ホームステイ先の受入 | | 5 | 4 | 2 | |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | ○シニアカレッジについては、昨年度末時点で53名が在籍し生涯学習活動に励む一方で、毎年実施している学園祭のほかに、いにしえトークや子どもの居場所づくり事業でも講師を努め、世代間交流に寄与するなど活動に幅ができてきている。入学者が減少傾向にある中で、人材の確保が必要とされる。 ○社会教育団体の活動支援については、会場使用料の一部負担や学校体育館開放の調整などを行い、スポーツ・文化活動の継続と向上に取り組んでいる。 ○江差学は、運営委員が主体となり、江差を深く知り今まで以上に江差に誇りを持てる2講座を企画し55名の参加を得た。 ○国際交流活動については、留学生自体のニーズが減少傾向であるとともに、町としてもホームステイ先の確保が不可能だったことから実施しておらず、次年度配置のALITを活用した国際交流活動の方策を検討する。 | | | | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する(国際交流、シニアカレッジ) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | | | | |
| 外部評価委員会の意見 | | ○評価は妥当と認める。 ○平成27年度に配置されたALITなどの協力を得ながら、国際交流活動(国際理解)に関する教育の事業推進に努めること。 ○若者の力や発想力を活かした成人教育並びに成人が地域に貢献できる環境の整備に努めること。 | | | | |

平成26年度

施策評価シート

No.13

| | | | | | | |
|--|--|---|-----------|--------|-------|----|
| 推進目標 | 学び続け、自らを高め、明日を拓く読書 | | 部門別計画(施策) | 社会教育 | | |
| 基本事業(施策)名 | 図書館費 | 担当係 | 図書館図書係 | | | |
| 基本事業(施策)の対象 | ①資料収集・提供 ②全域サービス | | | | | |
| 基本事業(施策)の意図 | 1-1 資料・情報の収集と提供 1-2 学習支援・レファレンス機能の充実 1-3 読書環境整備と利用促進 2-1 移動図書館車の運行 2-2 配本所設定 3-1 ブックスタート及び関連事業 3-2 学校との連携 3-3 高齢者へのサービス | | | | | |
| 事務事業の評価 | | | | | | |
| 推進計画該当項目 | 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 |
| | 図書館費事業 | 7,835,806 | | | | |
| 1-1 | 学習要求に応じた資料の購入・収集 | | 5 | 4 | 4 | |
| 1-2 | 道立図書館等との相互貸借、広域利用による利用圏拡大 | | 5 | 4 | 4 | |
| 1-3 | 年末特別貸出、テーマ展示、読書週間、クリスマス会 | | 5 | 4 | 4 | |
| 2-1 | 移動図書館車の運行 | | 5 | 4 | 4 | |
| 3-1 | 利用拡大 | | 5 | 4 | 4 | |
| 3-1 | 両親学級、ブックスタート、情報発信 | | 5 | 4 | 4 | |
| 3-2 | 団体貸出、調べ学習・利用体験の支援、学校との連携 | | 5 | 4 | 4 | |
| 3-3 | 高齢者向け大活字本の収集 | | 5 | 4 | 4 | |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | ○図書購入費は全道平均の約80%の水準で、蔵書の更新が十分ではなく、住民の学習要求に応えられていない部分がある。 ○移動図書館は利用が伸びたが、引き続きステーション設定を見直し、効率的に運行すると共に、新ステーションを開拓し全域サービスを充実させる必要がある。 ○ボランティアの積極的活動により幼稚園・子育て支援センターへの読み聞かせ訪問が行われている。 ○ブックスタート関連としておむつ交換台を設置し、赤ちゃんを連れての図書館利用時の環境改善が図られた。 ○利用促進策としてホームページで新刊案内を発信、広報「図書館へ行こう！」や文化会館との連携事業で未利用者層に対し、更にPR活動が必要である。 | | | | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | | | | |
| 外部評価委員会の意見 | | ○評価は妥当と認める。 ○魅力ある図書館を目指した蔵書の整備、開館体制の見直しを検討すること。 ○移動図書館車の有効活用に努めること。 ○図書館に足を運んでいただける展示企画と広報活動を図ること。 | | | | |

平成26年度

施策評価シート

No.14

| | | | | | | | |
|--|---------------------------------|--|-----|---|-------|------------|--|
| 推進目標 | | ふるさと江差の文化を高め、心豊かに生 | | 部門別計画(施策) | | 社会教育 | |
| 基本事業(施策)名 | | 文化会館管理費・文化振興費 | | 担当係 | | 社会教育課社会教育係 | |
| 基本事業(施策)の対象 | | ①芸術文化活動に対する支援 ②芸術文化に親しむ機会拡充及び文化会館利用促進 | | | | | |
| 基本事業(施策)の意図 | | 1-1 芸術文化活動への支援 1-2 芸術文化を活用した交流機会の充実 2-1 舞台芸術などの鑑賞機会の充実 2-2 大規模コンベンションの誘致 3-1 芸術文化環境の管理運営 3-2 施設管理の充実 | | | | | |
| 事務事業の評価 | | | | | | | |
| 推進計画該当項目 | 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 | |
| | 文化会館管理費・文化振興費事業 | 32,279,127 | | | | | |
| 1-1 | 江差町文化協会の運営と支援 | | 5 | 5 | 5 | | |
| 1-1 | みちくさ事業(ギャラリー・コンサート)、みちくさ事業との合同発 | | 5 | 5 | 5 | | |
| 1-1 | 江差町文化祭 | | 5 | 5 | 4 | | |
| 2-1 | 舞台公演・各種大会等の開催誘致、舞台発表行事への支 | | 5 | 4 | 4 | | |
| 2-2 | 援 | | | | | | |
| 3-1 | 指定管理者制度導入による貸館業務の充実 | | 5 | 5 | 5 | | |
| 3-2 | 文化会館施設の維持、舞台環境の維持 | | 5 | 5 | 4 | | |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | | | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | ○文化協会加盟団体及び町民による芸術文化活動の発表の場として、町民文化祭の実施や、「みちくさギャラリー及びコンサート」開催時の支援を行い、町民への鑑賞機会の提供と芸術文化活動の振興を図った。 ○文化会館の指定管理者については、当該年度が更新年度であり、平成26年度から30年度までの5年間の管理者として(株)舞台派遣を選定した。指定管理者としての自主事業も教育委員会と共催して開催された。 ○文化会館の活用については、江差追分全国大会をはじめとした江差町行事での活用のほか、学校における吹奏楽の定期公演や文化団体の発表やスポーツ大会の開会式といった舞台行事で活用されているが、更なる利用促進に向けた取り組みが必要。 ○文化会館の老朽化が進んでいる。利用者の安全や催し物が問題なく行われるように不具合箇所の修繕と改修に努めた。 ○子どもたちが芸術文化に触れる機会を確保するため、町内中学生を対象にした劇団風の子による演劇鑑賞会を実施した。 | | | | | |
| | 事業の方向性 | | ○ | さらに重点化する 現状のまま継続する 見直しのうえ継続する 事業の縮小を検討する 休止、廃止を検討する | | | |
| 外部評価委員会の意見 | | ○評価は妥当と認める。 ○引き続き利用者の視点に立ち、文化会館の計画的な維持管理に努めること。 ○指定管理者と共に文化会館の利活用の更なる促進を図ること。 | | | | | |

平成26年度

施策評価シート

No.15

| | | | | | | | |
|--|--------------------------|---|------------|-------------|--------|-------|----|
| 推進目標 | | ふるさとの自然と貴重な文化遺産を未来に | 部門別計画(施策) | 社会教育 | | | |
| 基本事業(施策)名 | | 文化財保護費 | 担当係 | 社会教育課 地域文化係 | | | |
| 基本事業(施策)の対象 | | ①ふるさとの資料を集める ②ふるさどについて調べる | | | | | |
| 基本事業(施策)の意図 | | 1-1 町内文化財の把握や町内外の資料収集と保管 2-1 調査・収集した事柄について町民ととの調査 3-1 調査・収集した事柄について町内外に発信 | | | | | |
| 事務事業の評価 | | | | | | | |
| 推進計画該当 | 施策目的のための事務事業 | | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 |
| | 文化財保護事業費 | | | | | | |
| 1-1 | 文化財の把握、郷土資料の収集・保管 | | | 5 | 5 | 3 | |
| 2-1 | 文化財の調査・保存、所蔵資料の調査・研究 | | | 5 | 5 | 1 | |
| 3-1 | 各施設の常設展・企画展、教育普及活動 | | | 5 | 5 | 4 | |
| 3-1 | 学校との融合(追分授業・尺八授業・ふるさと学習) | | | 5 | 5 | 5 | |
| 3-1 | インターネットによる情報発信 | | | 5 | 5 | 2 | |
| 3-1 | 文化財施設の維持管理 | | | 5 | 4 | 4 | |
| ※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能) 増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3 あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1 | | | | | | | |
| 江差町教育委員会 | 評価 | ○収蔵庫のキャパシティの関係もあり、資料収蔵は内容を吟味して受け入れている。 ○資料や文化財の調査・研究については停滞をしている。 ○企画展については、時機を選び実施している。 ○教育普及活動については、町内の学校と連絡を取りながら、授業カリキュラムに即した内容で行っている。 ○文化財施設の維持管理については、傷んだ個所に順位をつけながら修復を行っている。 | | | | | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> | さらに重点化する | | | | |
| | | <input checked="" type="radio"/> | 現状のまま継続する | | | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 見直しのうえ継続する | | | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 事業の縮小を検討する | | | | |
| | | <input type="checkbox"/> | 休止、廃止を検討する | | | | |
| 外部評価委員会の意見 | | ○評価は妥当と認める。 ○「ふるさと江差に心の向く教育」に関連する事業の更なる強化を図ること。 ○江差の歴史や文化を後世につなぐための資料について、調査・整理を進めること。 | | | | | |

平成26年度

施策評価シート

No.16

| | | | |
|-------------|---|-----------|------------|
| 推進目標 | 健康で楽しく、さわやかに生きる生涯スポーツ | 部門別計画(施策) | 社会教育 |
| 基本事業(施策)名 | 保健体育総務費、体育施設費 | 担当係 | 社会教育課社会教育係 |
| 基本事業(施策)の対象 | ①生涯スポーツの推進 ②生涯スポーツの環境の整備、充実 | | |
| 基本事業(施策)の意図 | 1-1 生涯各時期に応じたスポーツの普及 1-2 地域の特色を生かしたスポーツの普及 1-3 学校体育授業及び部活動への支援 2-1 スポーツ活動の指導体制確立とスポーツ団体の育成 2-2 スポーツ施設の管理運営 2-3 スポーツ施設の有効利用 | | |

事務事業の評価

| 推進計画該当項目 | 施策目的のための事務事業 | 事業コスト | 必要性 | 経済・効率性 | 目的達成度 | 備考 |
|----------|---------------------------------|------------|-----|--------|-------|----|
| | 保健体育総務費、体育施設費事業 | 50,196,854 | | | | |
| 1-1 | 夏休みこどもスイミングスクール、冬休みこどもスキーレッスン | | 5 | 5 | 5 | |
| 1-1 | マイスポーツの奨励・推進、スポーツ団体・サークル活動の支援 | | 5 | 5 | 4 | |
| 1-1 | スポーツ少年団交流大会、管内スポーツフェスタ、体協まつり、マイ | | 5 | 5 | 5 | |
| 1-2 | 江差カップ オープンヨットレース、スノースポーツ普及事業 | | 5 | 5 | 5 | |
| 1-3 | 学社融合スキー授業、スポーツ少年団・部活動への支援 | | 5 | 5 | 5 | |
| 2-1 | スポーツ推進委員、スポーツ少年団認定養成 | | 5 | 5 | 4 | |
| 2-1 | 江差町体育協会・江差町スポーツ少年団本部との連携 | | 5 | 5 | 5 | |
| 2-2 | スポーツ施設の管理(施設修繕・芝生整備含む) | | 5 | 5 | 4 | |
| 2-2 | AEDの設置、普通救命講習の開催 | | 5 | 5 | 5 | |
| 2-3 | 体育協会加盟団体及びスポーツ少年団への支援、学校体育 | | 5 | 5 | 5 | |
| 2-3 | 江差港マリナ・開陽丸センターとの連携、まなびっく(体育館) | | 5 | 5 | 5 | |
| 2-3 | 施設の専門性・地域の特色を生かした合宿・大会誘致 | | 5 | 5 | 4 | |
| | 学校給食センター負担金 | 42,026,000 | | | | |

※事業評価欄の記載例(なお、特記事務事業については同様式にて添付可能)

増加・寄与している場合 5 できている場合 4 概ねできている場合 3
あまりできていない・減少の場合 2 できていない・かなり減少の場合 1

| | | | | | | |
|------------|--------|--|--|--|--|--|
| 江差町教育委員会 | 評価 | <p>○野球場スコアボードについて、得点システム不良により自動フィルム巻き上げ式から電光掲示化への転換をし、施設機能の充実が図られた。ただし、野球場・多目的広場の芝生や鉄製品の劣化が進み、原材料購入等により職員の手で補修・修繕を進めているが、抜本的補修が必要な時期にきている。</p> <p>○生涯にわたって継続できるスポーツとして、水泳及びスキーの技術習得のための教室を行い、少年期における体力向上と長期休暇中におけるスポーツ機会の提供を図った。</p> <p>○AEDを用いた普通救命講習を2回実施し、運動公園管理人及び水堀町民プール管理人には受講を義務付けて施設管理上の安全を高めた。なお、講習は一人でも多くの住民がAEDによる救命措置が可能となるよう一般住民にも呼び掛け実施している。</p> <p>○町民皆スポーツの推進を図る観点から、体育協会やスポーツ少年団と連携し、各世代がスポーツに親しめるイベントや知識向上のための講習会を開催した。</p> <p>○合宿として春の旭川大学硬式野球部、大会として700名規模の還暦軟式野球全道大会、全道軟式少年野球大会を誘致し、施設の有効活用が図られた。</p> | | | | |
| | 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する | | | | |
| 外部評価委員会の意見 | | <p>○評価は妥当と認める。</p> <p>○各種スポーツ施設において、多くの町民が運動に親しむ環境づくりに努めること。</p> <p>○施設の有効利用や地域の活性化を図る観点から、対外的なPRを強化し合宿誘致に努めること。</p> <p>○施設の経年劣化が進んでいることから、計画的な維持管理に努めること。</p> | | | | |